

令和6年度松ヶ崎住民自治協議会

定期総会議案書

皆さん初めまして！
松ヶ崎のマスコットキャラクター「あみ君」です。
皆さんと一緒に松ヶ崎の
元気づくりに頑張ります。



○日 程：令和6年4月27日(土)

○会 場：松ヶ崎小学校体育館

松ヶ崎住民自治協議会

総 会 順 序

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 来賓紹介
5. 議長選出
6. 資格審査委員長報告
7. 書記・議事録署名人選出

令和 6 年度総会議事

(報告事項)

- 第1号議案 令和5年度事業報告
- 第2号議案 令和5年度収支決算報告

(議 案)

- 第3号議案 令和6年度事業計画について
- 第4号議案 令和6年度収支予算について

○令和5年度事業報告(概要)

各事業経過報告						
4月	8日	桜まつり		10月	4日	第2回かもめ教室
	12日	会計監査			8日	漁港草刈り
	15日	理事会			11日	理事会
	22日	総会			14日	港まつり
5月	6日	第1回公園草刈り			18日	第3回かもめ教室
	15日	理事会			21日	夜間防災訓練
6月	7日	高齢者等安心づくり委員会		11月	4日	第3回公園草刈り（1日目）
	8日	市長と語る会			5日	第3回公園草刈り（2日目）
	11日	百々川草刈り			15日	理事会
	15日	理事会			〃	第4回かもめ教室
	25日	地区スポーツ大会			19日	地区スポーツ大会
	28日	第2回高齢者等安心づくり委員会			29日	第5回かもめ教室
7月	8日	海岸堤防草刈り		12月	2日	防災訓練
	15日	理事会			6日	第6回かもめ教室
	17日	漁港草刈り			15日	理事会
8月	4日	第2回公園草刈り（1日目）		1月	10日	かもめの輪
	5日	第2回公園草刈り（2日目）			15日	理事会
	21日	理事会			27日	元気応援事業プレゼンテーション
	27日	通学路草刈り		2月	1日	コミュニティセンター化検討会
9月	15日	理事会			15日	理事会
	20日	第1回かもめ教室		3月	5日	松ヶ崎小学校へTシャツ進呈
	23日	土性沙羅さん講演会			15日	理事会

1. 令和5年度定期総会

令和5年4月22日、午後6時より松ヶ崎小学校体育館において定期総会を開催。8自治会から、40名の代議員が出席（委任状含む）役員・理事の出席と合わせ、総数54名が出席されました。

大会議長に代議員 家城斉和（松崎浦町）さんを選出し、令和5年度の活動方針、収支予算、役員改選について審議をおこない、提出した各議案は、絶対多数により可決・承認された。

2. “となり人事業”の推進(松阪市元気応援事業)

“となり人”の目線で高齢者世帯の安心を創る！

声かけ・穏やかな見守り活動！の推進。

(1) “となり人事業”を令和5年度の松阪市元気応援事業の応募テーマとし、事業の目的、松ヶ崎のマスコットキャラクター・キャッチフレーズ(標語)の募集等をメインに、プレゼンテーションにおいて説明をおこなった。

(2) 松阪市元気応援事業への応募と結果

▶事業名：となり人の心と目線で高齢者の安心を創る！

▶書類審査結果：12月12日：書類審査通過

▶プレゼンテーション：1月27日（土）

審査の結果＝松阪市事業採択・スポンサー賞受賞(マックスバリュ東海)

(3) 事業の推進（令和5年度）

①キャラクター・キャッチフレーズの募集

マスコットキャラクターの募集：SNSにより募集全国から32点の作品が寄せられた。

②キャッチフレーズの募集：松阪市民を対象に募集し49点の作品が寄せられた。

③応募作品の審査

審査員＝太田陽介氏（イラストレーター）村上しいこ氏（児童文学作家）坂口幸穂氏（みえこどもの城副館長）川村浩稔氏（松阪市産業文化部長）

④審査日＝令和5年9月25日（月）

松ヶ崎住民自治協事務局に於いて

⑤最優秀賞・優秀賞受賞者名

(マスコットキャラクター部門)

○最優秀賞：松ヶ崎小6年 松本惟吹（いぶき）君

○優秀賞：松ヶ崎小6年 亀田心乃花さん

松ヶ崎小5年 乾 瑠玖（るく）君

(キャッチフレーズ(標語)部門)

○最優秀賞：橋爪里紗さん（松崎浦町）

○優秀賞：佐波早苗さん（松崎浦町）岡田晴夫さん（飯南粥見）

3. 地域の安心・安全づくり活動

（1）松ヶ崎地区防災訓練の開催（12月2日（土）：参加者数150人以上）

（2）夜間防災訓練の開催（10月21日（土）：参加者数50人）

4. 防犯対策事業(夜間の明るい生活道づくり)

自治会からの申請により、松ヶ崎全域の防犯灯のLEDへの交換をおこなった。

（7自治会 17灯を交換）

5. 松ヶ崎2大イベント(地域住民交流事業)

（1）第7回 まつがさき桜まつり

○4月8日（土）：来場者数300人以上

（2）第14回まつがさき港まつり

○10月14日（土）：来場者数500人以上

6. 健康づくり事業:スポーツ大会

（1）第1回シャフルボード（6月25日：参加者数52人）

（2）第2回シャフルボード（11月19日：参加者数55人）

7. 松ヶ崎地域の環境整備(雑草処理・空き缶等投棄物の処分)

（1）百々川堤防の環境整備（6月11日：参加者数25人）

（2）海岸堤防緑地帯の環境整備（7月8日：参加者数51人）

（3）百々川堤防の環境整備（8月27日：参加者数20人）

（4）海の日：松ヶ崎漁港の環境整備（7月17日：参加者数24人）

港まつり会場：松ヶ崎漁港環境整備（10月8日：参加者数28人）

各事業の詳細については、次ページ以降に記載しています。

1. 令和5年度事業報告(詳細)

(1)令和5年度定期総会について

▶令和5年4月22日、午後6時より松ヶ崎小学校体育館において定期総会を開催。出席者は、8自治会(地区)合計40名の代議員中、39名が出席(委任状含む)理事の出席と合わせ、総数54名が出席された。

▶大会議長に家城斉和さん(松崎浦町)を選出し、令和5年度の活動方針、収支予算、役員改選について審議をおこない、提出した各議案は、絶対多数により可決・承認されました。

○役員改選の結果(承認)

- ▶会 長：山本 均(松ヶ島町)
- ▶副会長：刀根 旭(松崎浦町) 丸林敏則(六軒町) 大西常夫(松崎浦町)
- ▶会 計：佐波早苗(松崎浦町) 高山節子(六軒町)
- ▶事務局長：松本勝博(松ヶ島町)
- ▶監 査：大和伸一(松崎浦町) 奥永いづみ(新出町)
- ▶理 事
 - ・松崎浦町 : 足立一美 中西和博 城代密廣 笹原春久 刀根直紀
浅香満男
 - ・新出町 : 杉山 謙 山口公一郎 森 力
 - ・松ヶ島町 : 田中正一 正木悦美 山本哲史
 - ・南松ヶ島町 : 寺本智恵美 駒田笑子 岩井好信
 - ・六軒町 : 齊木喜明
 - ・小学校 : 大瀧 剛

○来 賓

- ▶松阪市長 竹上真人様、
- ▶松阪市議会議員 森 遥香様
- ▶マックスバリュ東海 野木政博様
- ▶松阪市企画振興部理事 蒲原智之様
地域づくり支援課統括官 小泉恵美様
- ▶松阪市社会福祉協議会 堀田美帆子様 西口星良様
- ▶松阪市第四地域包括支援センター 秦 智浩様

(2)“となり人事業”の推進について

**となり人の心と目線で高齢者の安心を創る！
声かけ 穏やかな見守り活動の推進。**

この事業を企画したきっかけは、数年前、一人暮らしの高齢者がコタツの中で亡くなっていた。近所の方は、カーテンが閉まったままであり、声をかけても返事がないことから、親族に連絡し、亡くなっている事を確認したが、数日が経過をしている状況でした。

この事態を受け、住民自治協として近所同士の良好な関係強化を図り「小さなエリアで大きな効果」を目指す事とし、近所同士お互いの関係強化に努める事で、異常事態発生時の早期対応と日常の生活上「お互いを見守り・声をかける」を活動指針とした。

この活動については、令和5年度松阪市元気応援事業の応募テーマとして採用し、審査の結果、下記の通り評価を得た。

(3)令和5年度松阪市元気応援事業プレゼン結果について

地域づくり部門に応募した4住民自治協議会が説明をおこなった。

松ヶ崎住民自治協は「**(続)となりびと(隣人)の心と目線で高齢者の安心を創る！**」「**声かけ・穏やかな見守りの推進**」をテーマに説明し、審査の結果、松阪市の事業採択、スポンサー賞（マックスバリュ東海）を獲得した。（特別交付金40万円）

この受賞により今まで獲得した特別交付金総額435万円となり、この特別交付金は、新たな事業を企画・推進し、松ヶ崎のまちづくりに活用している。

①提案説明した“となり人事業”内容

○マスコットキャラクター及びキャッチフレーズの募集の目的

▶住民自治協活動を住民の皆さんに身近に感じてもらい、親しみを持ってもらう仕掛けとして、松ヶ崎独自のマスコットキャラクター及びキャッチフレーズの募集を計画した。マスコットキャラクターについては、全国から32点の応募が寄せられるなど大きな反響が得られた。イラストレーターなど有識者による厳正な審査の結果、最優秀賞に松ヶ崎小6年松本惟吹君のかんこ踊りをイメージした作品が選ばれた。

▶監修・手直しはイラストレーター太田陽介さん依頼しました。

○キャラクターを紹介するポスター・チラシの制作

▶令和5年度事業として、キャラクターを紹介するポスター・チラシを制作・各自治会掲示板への掲示を依頼した。

▶また、チラシを全戸配布し、松ヶ崎の人々に松ヶ崎のマスコットキャラクターとして紹介させていただいた。

②子ども会議の開催

12月13日 松ヶ崎子ども会議（松ヶ崎小4・5・6年生）を開催し、子ども達の斬新なアイデアの提供とまちづくりについての意見交換をおこなった。

③マスコットキャラクターを活用した“となり人事業”の推進

令和6年度松ヶ崎住民自治協の中心事業として、地域・自治会の全面協力を得る中で、キャラクターを活かした「人々の安心づくり」を進めます。詳細については、令和6年度事業計画で提案説明します。

(4)地域住民学習会「かもめスクール」について

身近なテーマ、健康日常生活に必要なテーマを学習会の課題とし、有識者を講師に6講座を開催した。出席者総数180人が受講された。

(5)安全・安心活動について

①松ヶ崎地区防災訓練について（共催：8自治会・松ヶ崎小学校）

令和5年12月2日（土）午前9時より松ヶ崎小学校において、松ヶ崎地区防災訓練をおこなった。

(防災訓練の想定)

○午前9時、和歌山県沖を震源とする**東南海地震**が発生、時間をおかず触発された静岡県駿河湾（するがわん）を震源とする**東海地震**、四国沖を震源とする**南海地震**が発生、松ヶ崎においても震度6弱の揺れが発生し、道路の亀裂や液状化が発生、多くの家屋にも被害が見られる大惨事となった。

○津波警報が発令され、日本の太平洋側の都市を津波が襲来したと想定し防災訓練を開催した。

(訓練内容)

○小学生は市が指定しているアピタ屋上に集団避難、地区住民は緊急避難所として外階段など整備された松ヶ崎小学校屋上への避難を開始した。

○今回も**体験型訓練と要配慮者の避難支援訓練**に重点を置き車椅子、担架を使った避難支援訓練（代表者による実地訓練）をおこない、全員にその状況を見学してもらい、その後、全員が校舎屋上へ上り、三渡川、伊勢湾、密集する松ヶ崎の住宅街を高所目線で見てもらった。

○ある女性は「高いところから自分の住んでいる町並みと海をみて堤防を津波が乗り越えてきたらと想像すると恐ろしい」「海から離れた所に

一秒でも早く逃げる事が命を守る事が分かった」話されました。

○防災部長の浅香さんが講評の中で話された「声が出ていない」については、けが人等を担架で避難を支援する場合、複数の人たちでおこなうが、担架を持ちあげる時「1・2・3の掛け声」で同時に担架を引き上げる事は、担架に乗った人がずり落ちたりする事を防ぐことになります。災害時“声”を出すことは最も大切な行動である事を、一人ひとりが実践を通して学んでいただいたと理解しています。

○地区防災訓練参加者の感想と意見

体験型訓練について、下記の通り参加いただいた人にコメントをお願いした。

(消火器操作訓練)

- ▶Aさん：本物（消火器）を2～3本程度準備してほしい。
- ▶Bさん：消火のポイント（火元をねらう）を教えてもらって良かった。
- ▶Cさん：普段使わないので良かった。
- ▶Dさん：いざという時の為に体験ができ良かった。

(AED操作訓練)

- ▶Eさん：説明だけではなく、実際経験してみてもより理解が深まった。
- ▶Fさん：心臓マッサージがいるなどと思った。
- ▶Gさん：代表だけではなく全員ができて良かった。
- ▶Hさん：センターとかに備えられている、AEDを使う等、本物を操作する事で誰でもすぐに使えるようにしてほしい。
- ▶Iさん：AEDがどこに設置してあるのか、みんなが把握しておく必要がある。

(地震体験車(震度7)体験訓練)

- ▶Jさん：家の中の物（タンス・冷蔵庫・食器 e t c）の固定などやらなければと感じさせるほどすごい揺れだった。
- ▶Kさん：すごい揺れで、何もできなさそう。
- ▶Lさん：身体がもっていかれるぐらい、すごい揺れだった。
- ▶Mさん：今回で2回目の体験だったが、今回もすごい揺れを体感した。実際起こったら、冷静に対応できるか心配。
- ▶Nさん：すごい揺れで身体がすべって怖かったし、しっかりと身体を床に付け身を守らないと、飛ばされる危険性が高く、訓練を積み重ねる事が重要である事を理解した。

（小学生訓練好評：感想）

- ▶児童会 A 君：地震の恐ろしさを知りました。南海トラフが来たらこんな状況になるのか想像できました。今回の防災訓練を通して、みんなで遠くへ逃げる事が大切か理解できました。
- ▶児童会 B 君：震度 7 を体験して、怖い事を知りました。アピタへの避難は、素早くする事が大事だと思いました。

（最後に）

- ▶参加された多くの住民のみなさんから、訓練に対し一定の評価をいただいた。防災訓練は「繰り返し・繰り返し」おこなう事で、災害発生時に求められる対応能力が身に付くものと考えます。

②松阪市総合防災訓練（夜間訓練）への参加

- 日 時＝10月21日（土）午後5時45分
- 場 所＝松ヶ崎小学校体育館
- 参加者数＝50人

訓練内容

- ①自治会別に避難者の受付訓練
- ②緊急避難場所（外階段の鍵等）及び松ヶ崎防災倉庫の鍵が収納されているキーボックスの場所の確認
- ③非常食・非常備品等の確認と保管場所の確認（松ヶ崎防災倉庫含む）

（訓練の詳細）

- ▶初めての夜間防災訓練に各地区から50人（男性40人・女性10人）が参加し、約90分に亘って事前に用意した訓練メニューに従い訓練を進めました。
- ▶特に今回の訓練に重きを置いたのは「**避難者の受付**」であり本番を想定し、**自治会別に避難者名簿の作成**をおこなった。自治会役員により氏名・年齢を聴きとり、名簿にはカタカナ文字で記載する事で受付の時間短縮を図る事としました。
- ▶その後、避難場所の鍵が納められているキーボックスの場所及び災害備蓄品の保管場所を視察し、続いて、災害備蓄品の保管場所を視察と防災倉庫内の備蓄品を確認してもらった。
- ▶また、体育館内に簡易トイレ・トイレ用テント、太陽光を利用したスマホが充電できる太陽光ソーラー、備蓄している食料備蓄品を展示・紹介した。

参加者の声＝災害に関する機材、備蓄品等の保管場所を多くの人を知る事で「いざ！」という時その効果は発揮される。非常に内容のある訓練であった。

(6)防犯灯 LED への交換(夜間の明るいみちづくり)

自治会からの申請により、防犯・交通安全を目的に LED への交換を進めています。令和 5 年度は、**7自治会において17灯を交換**した。

(7)交流イベントの開催について

①第7回まつがさき“桜”まつり

- ▶令和 5 年 4 月 8 日晴天の予報が薄曇りとなったことから、開会直前まで来場者の出足も今一であったが、開会時には来場者が増え、特産品を買い求める人の列ができた。
- ▶コロナ禍が落ち着いた中、屋外イベントに多くの地域の皆さんが来場され、交流を楽しまれたものと実感させていただいた。(イベントの効果)
- ▶**来場者は昨年を超える300人以上を数え、特に子ども達の姿が多くみられ、また、小さなお子さんを連れた若い家族の姿も目に付くなど、老若男女が一同に会し楽しんでいただけたものと確信した。**

○日 時：令和 5 年 4 月 8 日（土）午前 9 時～正午

○場 所：松ヶ崎小学校

○来場者：300人以上

○協賛金：1万円（マルイチ水産様）

○商品提供

- ▶朝日海苔本舗様・中野海苔様・亀井商店様・寿総合食品様・道の駅飯高駅様・飯南中西農園様

○事業内容

- ▶特産品の販売（松ヶ崎・道の駅飯高駅・飯南茶中西農園）
- ▶お楽しみ抽選会
- ▶獅子舞（松崎神楽保存会）
- ▶健康相談コーナー（第四地域包括支援センター）

②第14回まつがさき“港”まつり

- ▶穏やかな日和に恵まれた第14回まつがさき港まつり、開設した各ブースには特産品を買い求める長い列ができるなど賑わった。
- ▶港まつりの趣旨である地域の人々に交流を深めてもらうため、パラソル、テントに椅子を配備した休憩所を設けたがたくさんの方が利用され、会話を楽しまれる姿を見せてもらった。
- ▶また、4年ぶりとなる「かんこ踊り」「和太鼓演奏」には多くの来場者がその勇姿に魅了、大きな拍手がまつりの雰囲気を高めていただいた。
- ▶来場者数もコロナ禍前の500人を上回り、地域内外の人々で賑わい「交流から生まれる良好な関係づくり」の目的を達成した港まつりと総括させていただく。

○日 時：10月14日（土）午前9時～正午

○会 場：松ヶ崎漁港

○来場者：約500人以上

○総スタッフ数：60人

○出 店

亀井商店・道の駅飯高駅（委託販売）・飯南中西農園・松阪市健康づくり課・第四地域包括支援センター・フリーマーケット

○来 賓：松阪市長代理（副市長 永作友寛氏）県会議員（野口 正氏・田中祐治氏 市議会議員（森 遥香氏）丸亀産業職員（2名）

○メッセージ

衆議院議員：田村憲久氏・県議会議員：中瀬古初美氏

○視 察：港住民自治協議会（小濱会長外1名）

○協賛企業・事業所（順不同敬称略）

▶（協賛金） ユタカ開発（株）様・マルキン製作所（株）様・橋本電子（株）様・丸亀産業様・嘉祥苑様・マルイチ水産様

▶（商品提供）朝日海苔（株）・中野海苔（株）・亀井商店（株）・寿総合食品・道の駅飯高駅・飯南中西農園（お楽しみ抽選会景品提供含む）

○催しもの：松ヶ崎特産品の販売・道の駅飯高駅弁当 和菓子販売・飯南中西農園お茶の葉販売・健康相談（市健康づくり課・第四地域包括センター）・お楽しみ抽選会・フリーマーケット

○イベント：松ヶ崎かんこ踊り保存会（小学生によるかんこ踊り）・響座いなせ組（和太鼓演奏）・お楽しみ抽選会・チビっ子輪投げ

(7)健康増進事業「地区スポーツ大会」について

①第1回シャフルボードの開催

- 6月25日（土）午前9時より松ヶ崎小体育館において、第1回シャフルボードを（初めて）開催、52名が参加された。
- スポーツ大会の開催は（コロナ禍のため）4年ぶりとなったが、当初の予定を上回る参加者があり、おおいに盛り上がりをもせたスポーツ大会であった。
- 健康づくり、交流を目的として開催したが、チーム戦（4人）のため、「お互いが上位入賞を目指して励まし合い」また「経験者が初心者にアドバイスする姿」にこの大会の意義をみせてもらった。
- 大会結果
 - ▶優勝＝笹原春久さん・北島久生さん・笹原 斉さん・正木悦美さん

②第2回シャフルボードの開催

- 13チーム52名が参加し、和気あいあいの中、熱戦が繰り広げられた。参加者は、小学生から高齢者まで幅広く参加された。
- 1球ごとに体育館内は歓声に包まれ「あっと！」という間に時間が過ぎ去っていく感じで、老若男女が一同に会して競技を楽しむ姿は、交流の最たる姿であり意義深いスポーツ大会であった。
- 大会結果
 - ▶優勝＝大瀧校長外松ヶ崎小教職員のみなさん

(8)松ヶ崎特別講演会について(松ヶ崎小学校との共催事業)

①第1回共催事業

- 講師：リオデジャネイロ五輪金メダリスト「**土性沙羅さん**」
- 日時：令和5年9月23日（秋分の日）
- 会場：松ヶ崎小体育館
- 参加者：全校児童・保護者と地域住民87名
 - ▶リオ五輪金メダリスト**土性沙羅さん**（松阪市教育委員会スポーツ課）の話に、参加者は興味深く話に聞き入り、また、土性沙羅さんがリオ五輪で獲得した金メダルの感触を（子ども達）一人ひとりが味わうコーナーも設けられた。
 - ▶土性さんの“努力の歩み”から、参加した私達は多くの事を学ばせてもらった。子ども達は「私も目標を持ち頑張る！」保護者は「子どものこれからの教育の参考になった」と感想を述べられた。
 - ▶金メダリストの体験談は、子ども達、私達大人のも大きな感動を与えてくれた。

②第2回共催事業

○講師：児童文学作家村上しいこさん

○日時：令和5年11月29日（水）

○会場：松ヶ崎小体育館

○出席者：松ヶ崎小全校児童・教職員

▶松ヶ崎小図書館には村上しいこさんの本が何冊か収蔵されており、読んだ子どももおり、熱心に聞きいる姿が印象的であった。

▶最後の質問コーナーでは多くの子どもたちが手を上げ質問し、最後に講師と子ども達は握手を交わし笑顔で終了した。

○児童文学特本「5冊」を寄贈

▶松ヶ崎住民自治協から村上しいこさんの児童文学読本「5冊」を松ヶ崎小図書館に寄贈しました。

（8）地域環境の整備について

①百々川堤防除草作業

▶6月18日（日）午前7時より百々川右岸左岸の草刈り作業をおこなった。25名が参加いただいた。

▶各自持参いただいた草刈り機等で、約2時間に亘って長く伸びた雑草の刈り取り作業をおこなってもらった。

②海岸堤防緑地帯の除草作業

7月8日（土）午前8時より54名（地域住民23名 ヴァーレジャパン31名）により、ハマボウが植樹されている緑地帯の草刈り作業等をおこない、軽トラック12台分の雑草を処分した。きれいになった海岸堤防緑地帯、ハマボウの生育と不法投棄がなくなることを願い作業を終了した。

（9）行政施策への対応

①地区市民センター等のコミュニティセンター化について

②小規模小学校の統合問題について

③地域「まるごと相談室」の開設について

は、事業計画で説明させていただきます。

令和 5年度 収 支 決 算 書

協議会名 松ヶ崎住民自治協議会

収 入

科 目	予算現額	決算額	収 入 内 容 (名称・相手方・金額詳細など)
住民自治協議会活動交付金	1,856,000	1,856,000	均等割=689,000、人口割=331,000、事務人件費=700,000、生涯学習振興費=136,000
元気応援事業採択交付金	400,000	400,000	松阪市=200,000、スポンサー賞=200,000
前期繰越	435,657	435,657	令和4年度繰越金
助成金	516,210	569,445	地域福祉活動推進助成金=100,000 旧地区福祉会助成金(配食)=368,520 自治連合会=50,000 松阪市(消防活動助成金)=30,000、赤十字社=20,925
雑収入	50,133	534,381	委託費より繰入=250,000、通帳利息=12、まつり売上=284,369
協賛金	150,000	170,000	企業等協賛金
収入合計	3,408,000	3,965,483	

支 出

(大分類) 部会名等	予算現額	内住民自治協議会活動交付金額	決算額	内住民自治協議会活動交付金額	社協交付金	事業 番号	(小分類) 事 業 名
生活環境 整備事業	240,000	200,000	339,200	230,804		1	防犯灯設置費
	30,000	30,000	0	0		2	広報掲示板設置費
	(小計)	270,000	339,200	230,804			
安全・安心 対策事業	50,000	20,000	62,398	20,000	30,000	3	防災訓練費
	100,000	50,000	147,183	80,000	50,000	4	防災備蓄品購入費
	20,000	10,000	0	0		5	防災講演会経費
	50,000	20,000	0	0		6	防災啓発冊子印刷費
	10,000		0	0		7	防災ネット分担金
	(小計)	230,000	209,581	100,000	80,000		
スポーツ レクリエーション 事業	50,000	0	43,872			8	運動会支援金
	10,000	0	46,247	0		9	地区スポーツ大会(2回)
	10,000	0	8660	0		10	北ブロック公民館スポーツ大会
	(小計)	70,000	98,579	0			
文化・歴史事業	10,000	0	0	0		11	かんこ踊り
	20,000	0	0	0		12	ガイドボランティア活動経費
	(小計)	30,000	0	0			
高齢者対策 事業	80,000	80,000	29,760	29,760		13	地域住民生涯学習費(元気応援事業)
	170,000	170,000	180,432	170,000		14	キャラクター等募集関係費(元気応援事業)
	100,000	100,000	251,897	200,240	50,000	15	ポスター等印刷関係費(元気応援事業)
	50,000	50,000	0	0	0	16	高齢者安心づくり委員会費(元気応援事業)
	200,000	200,000	275,000	200,000	50,000	17	敬老会関係(記念品の配布等)
	(小計)	600,000	737,089	600,000	100,000		
地域ふれあい事業	466,210	0	370,913	0	0	18	配食サービス・福祉教育活動
(小計)	466,210	0	370,913	0	0		
子ども元気 応援事業	10,000	0	0	0		19	ふれあい感謝集会
	20,000	0	13,947	0		20	小学生交流会(香肌小)
	7,000	0	7,000	0		21	小学生卒業記念品
(小計)	37,000	0	20,947	0	0		
公民館事業	70,000	70,000	61,650	61,650		22	公民館保険
	10,000	0	9,647	0		23	まっさきフェスティバル
	10,000	0	34,288	0		24	サークル等育成活動経費
	10,000	0	0	0		25	公民館まつり経費
(小計)	100,000	70,000	105,585	61,650			

(大分類) 部会名等	予算現額	内住民自治協議 会活動交付金額	決算額	内住民自治協議 会活動交付金額	社協交付金	事業 番号	(小分類) 事業名
事務局	250,000	100,000	77,744	77,744		26	春まつり開催費
	500,000	200,000	578,818	222,258		27	港まつり開催費
	154,790	106,000	105,586	105,198		28	事務局経費
	700,000	700,000	872,624	700,000		29	事務局員人件費
	100,000	50,000	84,000	58,350		30	旅費
	150,000	100,000	130,500	100,000		31	役員会会議手当
(小計)	1,854,790	1,256,000	1,849,272	1,263,546			
支出合計	3,658,000	2,256,000	3,731,164	2,256,000	180,000		

(収支合計)3,965,483円-(支出合計)3,731,164円=234,319円を令和6年度に繰越、
上記のとおり決算いたします。

令和6年 3月31日

松ヶ崎住民自治協議会
会長 山本 均

令和5年度収支決算報告に関する一切の証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容は適正であると
認めます。

令和6年4月10日

奥永 いづみ



(特別会計) 松ヶ崎公園委託事業等

令和 5年度 収 支 決 算 書

協議会名

松ヶ崎住民自治協議会

収 入

科 目	予算現額	決算額	収 入 内 容 (名称・相手方・金額詳細など)
松ヶ崎公園管理業務委託金	1,597,500	1,597,500	松阪市
清掃委託金	297,400	304,200	松阪市
百々川堤防環境整備委託金	396,000	411,000	三重県
前期繰越	653,428	653,428	令和4年度繰越金
雑収入	5	10	通帳利息等
収入合計	2,944,333	2,966,138	収 入 内 容 (名称・相手方・金額詳細など)

支 出

(大分類) 部会名等	予算現額	決算額	事業 番号	(小分類) 事 業 名
自然環境事業及 び公園等委託事 業	1,365,000	1,022,967	32	松阪市委託金(松ヶ崎公園環境整備)
	279,000	306,968	33	日常清掃(トイレ清掃等)
	271,000	183,492	34	三重県委託金(百々川環境整備)
	15,000	75,214	35	通学路及び海岸堤防環境整備
	285,000	69,272	36	事務局経費
		55,244	37	消耗品費(草刈り・燃料費・その他)
繰入金	250,000	250,000		住民協活動経費へ
支出合計	2,465,000	1,963,157		

(収支合計)2,966,138円-(支出合計)1,963,157円=1,002,981円を令和6年度に繰越、
上記のとおり決算いたします。

令和6年 3月31日

松ヶ崎住民自治協議会
会長 山本 均

令和5年度収支決算報告に関する一切の証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容は適正であると
認めます。

令和 6 年 4 月 10 日

奥永 いづみ



松ヶ崎住民自治協議会 令和6年度事業計画

(主な事業)

○“となり人事業“の推進について

孤独(孤立)対策

○安全・安心の地域づくり事業

○地区スポーツ大会について

○住民学習会(かもめ教室)の開催について

○イベント(春・港まつり)の開催について

○松ヶ崎環境整備について

○こども事業について

○行政施策への対応について

松ヶ崎住民自治協議会

令和6年度 事業計画について

1. “となり人”事業の推進(概要)

孤独(孤立)の解消

となり人の心と目線で地域住民の安心を創る！

「声かけ・見守り」そしてちょっとした「心遣い」を大切にする心が通うまちづくり

(下記の事項を中心に“となり人事業”を推進する)

- (1) 「“となり人事業”推進委員会」の発足
- (2) マスコットキャラクターを活用した啓発推進
- (3) 「“となり人事業”とは？」啓発ミニテキストの編集と発行
- (4) 各自治会に出向いておこなう「“となり人事業”出前講座」の開催
- (5) 松ヶ崎住民学習会(かもめ教室)の開催。

2. 地域の安心・安全づくり事業

- (1) 大災害に備えて
 - ①松ヶ崎地区防災訓練の開催
 - ▶松ヶ崎地区8自治会・松ヶ崎小学校と協働し、参加者自らが体験する訓練、要配慮者を支援する訓練(避難等)を基本に、実行性の高い訓練を目指す。なお、訓練には松ヶ崎消防団の協力を得る。
 - ▶令和2年6月、嬉野豊田住民自治協議会と協定した「災害発生時相互支援協定」に基づいた避難者受け入れ訓練を開催する。
- (2) 夜間の明るいまちづくり(防犯灯のLEDへの交換)
 - ▶夜間の防犯・交通安全対策のため「夜間の明るい道づくり」を推進する。

3. 地域住民交流事業:イベントの開催

- (1) まつがさき春まつりの開催(令和6年4月13日:開催済み)
- (2) まつがさき港まつりの開催(令和6年10月19日:予定)
- (3) 交流を目的に「楽しみと集う場」を提供する。
- (4) 地場産業への支援として、製造品のPRと販売をおこなう。
- (5) 郷土芸能(かんこ踊り・獅子舞)の披露など、保存会の協力を得る事で松ヶ崎の特色を活かしたまつりとする。

4. 健康づくり・仲間づくり事業：地区スポーツ大会の開催

年2回（日程未定）開催を予定。開催種目等は、体育委員会において決定する。

5. 地域の環境整備

- （1）海岸堤防緑地帯の雑草処理、投棄物の回収
- （2）百々川堤防（通学路・生活道）の雑草処理、投棄物の回収
- （3）港まつり会場である松ヶ崎漁港の雑草処理。投棄物の回収など、有志の参加によりおこなう。

6. 行政施策への対応

- （1）地区市民センターの「コミュニティセンター化」について
- （2）小規模校（松ヶ崎小学校）の統合問題について
- （3）福祉のまると相談室の開設について

行政施策経過は、9ページ10ページに記述しています。

以上、令和6年度に予定している、事業の概要です。代議員の皆さんのご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

令和6年度主な事業計画

1. “となり人事業”の推進について

孤独(孤立)の解消

“となり人”の心と目線で地域住民の安心を創る！

声かけ・見守り！とちょっとした“心遣い”で、隣近所の心の通った関係づくり！

(1) “となり人事業”（令和5年度実施した事業）

①自治会掲示板へのポスター掲示とチラシの全戸配布

- ▶本年2月1日、松ヶ崎8自治会にポスター掲示依頼・全戸にチラシの配布をおこなった。
- ▶ポスターの掲示を松阪市社会福祉協議会（6枚）松阪第四地区包括支援センター（2枚）宇野医院（2枚）道の駅飯高駅（2枚）に掲示をお願いした。
- ▶チラシを松阪市内の各住民自治協へ送付した。

②こども会議の開催

令和5年12月13日に開催した子ども会議でオリジナルグッズについて子ども達のアイデアを聴く機会を設けた。

「Tシャツが欲しい、色は黒色が良い」する子ども達の要望を元に「あみくん」をプリントしたTシャツ（40枚）を製作した。

③松ヶ崎小全児童にTシャツプレゼント

本年2月22日（木）松ヶ崎小学校全児童に、マスコットキャラクターをプリントとしたTシャツ（36枚）をプレゼントした。

子ども達は早速手を通していった。図案を考えた男子児童は「Tシャツにプリントされるとは思わなかったの、嬉しい！」女子児童は「“可愛い”休みの日に着たい」と感想を述べていた。

④松阪市長に“となり人事業”内容の説明

3月5日竹上真人市長を訪問し、“となり人事業”の目的・趣旨の説明をおこない、Tシャツを進呈しましたが、竹上市長は早速Tシャツを着てもらい「可愛いキャラクターができあがったなー」と感想を述べられた。

また、取材を受けた新聞記者、松阪ケーブルテレビのアナウンサーも「親しみの持てるキャラクターですね」と感想をいただいた。

「あみくん」:最優秀賞 「かんちゃん」:優秀賞 「ジョーくん」:優秀賞



原案:松ヶ崎小6年
松本惟吹君



原案:松ヶ崎小6年
亀田心乃花さん



原案:松ヶ崎小5年
乾 瑠玖君

監修:イラストライター 太田陽介さん:嬉野町
(著作権:松ヶ崎住民自治協議会)

2. 令和6年度“となり人事業”計画

(1)「“となり人事業”推進委員会」の発足

“となり人事業”の具体化を図るため「“となり人事業”推進委員会」を発足する。

○委員構成＝松ヶ崎住民自治協の女性理事（6名）と松阪市地域づくり課職員、松阪地域第四包括支援センター職員、松阪市社会福祉協議会職員で編成する。

(2) 令和6年度“となり人事業”に係る事業計画

○となり人事業推進委員会の協議内容

(1)マスコットキャラクターを使ったオリジナルグッズの制作

Tシャツ・トートバッグ・タオル・マグカップ・クリアファイル・シール等の制作について検討する。

(2)オリジナルグッズの販売

「Tシャツは販売しないのか？」との地域の人からの声が届いていることから、販売価格を制作費と同額として販売をおこない、要望に応えたい。

例えば、まつながさき港まつりで、オリジナルグッズ（例＝Tシャツ・トートバッグ・タオル・シール・マグカップ e t c）を原価での販売を検討したい

(3)Tシャツ・トートバック等のプレゼント企画(目的＝啓発)

①抽選によるオリジナルグッズのプレゼント企画。

▶松阪市民を対象に希望者を募り、オリジナルグッズを景品とする抽選会をおこなう。

②まつながさき港まつり抽選会景品

▶景品・景品本数については検討したい。（景品例＝Tシャツ・トートバック・タオル・マグカップ等を準備）

(4)出前講座の開催

▶各地区に（自治会）に出向き、“となり人事業”の目的について説明し、意見交換をおこなう。

▶開催期間：令和6年7月～12月の間で、各地区（自治会）で開催。

(5)“となり人事業”啓発ミニテキストと緊急時の連絡網の配布

“となり人事業”の趣旨をみなさんに深めてもらうため、啓発ミニテキスト「となり人事業って何？」の編集と制作及び緊急時「どこに！」「誰に！」連絡するのか、緊急連絡網作成し、各戸配布する。

(6)最後に、“となり人事業”を計画した“きっかけ”について触れます。

①一人暮らしの高齢者の孤独死。全国でこの悲惨な事態が発生しており、その都度、悲しいニュースとして報道され、この事態を回避する対策が必要であると言われます。

松ヶ崎においても、ここ数年の間に数件が発生しました。この事態を受け、**隣人の思いやる心と目線・高齢者の安心を創ると銘打って、「向こう三軒両隣における声かけ・穏やかな見守り活動」**を提唱し、啓発チラシ、学習会等において（地域住民に）周知活動を推進してきました。

②この活動を始める**きっかけ**は、5年以上前になりますが、一人暮らしの高齢女性がコタツの中で亡くなられており、発見されたのは、数日経過後となりました。近所の人たちも「もっと発見が早ければ」と悔やまれる話を耳にし、日常の声かけ・穏やかな見守りの必要性を感じ、この活動を提唱しました。この趣旨を理解いただき、少しの異常事態にも気を配っていただく人が増えてきました。

③そのような中、昨年の7月、一人暮らしの男性の異常に気付かれた近所の住民が「何度となく声をけたが返事ない」と地域外に住まれる家族と民生委員に連絡し、松ヶ崎市民センターから、松阪市の担当部所に連絡をおこない、（松阪市の職員が）家の中に入ると亡くなられていました。が、今回は近所の方の早い“気づき”と“適切な動き”で早期発見に繋がった事例でした。

4. 安全・安心の地域づくり事業

私たちが生活する東海地方も南海トラフ巨大地震への警戒が絶えず言われており、地震対策について、地域が個人が巨大地震への備えを万全にする必要がある。

(1) 地域が、一人ひとりがおこなう大災害対策

本年1月1日に発生した、能登半島地震の教訓。

①地域（住民自治協議会）がやるべき事

継続した防災訓練・避難訓練の開催・災害情報の提供・広域防災対策の強化など。

令和6年度 松ヶ崎地区合同防災訓練(予定)

○日 時:令和6年12月の土曜日か日曜日

○会 場:松ヶ崎小学校

○内 容:参加者全員が体験する「体験防災訓練」「要配慮者避難支援訓練」とする。

○参加数:150人～200人(予定)

②各自がやるべき事

○非常食・飲料水の備蓄。(最低3日間できれば5日間が必要と言われている)

○避難時の近所同士の声かけ。

避難時の声かけは、災害発生時に不可欠な命を守る行動であり、隣近所が声を掛け合い一緒に避難する事が大切です。（“となり人事業”の重要な目的のひとつ）

○家屋の耐震診断と強化対策及び家具等の固定。

○第1次避難所（アピタ・コーナン）の避難路の確認と内陸地の親戚、友人に「もしもの時の一次避難先として依頼しておく」事も重要な命を守る対策。

○そして、常備薬、連絡先のメモなど、直ぐに持ち出せるよう整理をしておく事。

○他にも、犬・猫等に対するペット対策など、やらなければならない事はたくさんあります。大災害に備えて地域対策・自己対策の徹底は**命**を守る事に繋がる事を信じて災害準備をおこなっていただきたい。

③地区（自治会）がやるべき事

○総会等で、地震災害への対応・避難方法について話し合うこと。

○ “となり人事業” への理解と実践を促す事。

など、それぞれの立場で「大災害への心得と物的準備の強化を図る必要があります。

「地域が、一人ひとりが考えて地震対策を形にする」この行動が命を守る唯一の動きと確信します。南海トラフ・集中豪雨等への警戒心を怠らず命を守る行動に努めていただきたい。

(2) 大災害発生に備えて、広域の連携強化事業の推進

松ヶ崎住民自治協は、令和2年6月9日付けにて、嬉野豊田住民自治協と「災害発生時相互支援協定書」の締結をおこなった。

令和5年2月に初めて合同避難訓練・避難所運営訓練を開催したが、本年度は、第2回目となる防災（避難所運営等）訓練等を計画し、避難者同士が避難上の問題点、課題など、意見交換の場を設定します。

(3) 松阪市が主催する松阪市総合防災訓練に参加します。

4. 伝統行事(郷土芸能)について

松ヶ崎の伝統行事である「かんこ踊り」「獅子舞」をまつがさき港まつり・まつがさき春まつりの会場において披露していただき、地域内外の皆さんにその勇姿を觀賞していただく。

5. 地区スポーツ大会について

令和5年度は2回のスポーツ大会（種目：シャフルボード）を開催したが、子どもから大人までの広い年齢層の皆さんに出場していただき、和気あいあいの中、楽しむスポーツ大会として有意義な時間を過ごしてもらった。本年度もスポーツ大会を地域住民の交流と体力づくりの一環として開催します。

6. 住民学習会(かもめ教室)の開催について

地域の人々を対象に、皆さんが知りたい内容を中心に学習プログラムを準備し計画を進める。特に、松ヶ崎住民自治協が力を入れている**“となり人”事業**に関するテーマ、**健康増進、詐欺防止**に関するテーマ、そして、**松阪市が推奨するエンディングノートの活用・書き方**をテーマに、専門職の講師を招き開催する。学習会数は6回、定員は30名としたい。

7. 「イベント(春・港まつり)」の開催について

松ヶ崎住民の「交流」を目的に開催している、ふたつのイベントも地域の住民の皆さん、他の地域（飯高住民自治協・飯南農園）の協力で着実に回数を重ね、行事内容もみなさんが真に楽しんでもらえるイベントとして充実を図ってきた。本年度もより多くの人々が「“集い・楽しむ”」イベントとして、企画づくりを進めます。

(行事予定)

- ①4月13日:第8回まつがさき春まつり(会場=松ヶ崎小学校)
- ②10月19日未定:第15回まつがさき港まつり(会場=松ヶ崎漁港)

8. 松ヶ崎環境整備について

ハマボウが植樹されている海岸堤防、百々川堤防(通学路・一般生活道)、港まつりの会場である松ヶ崎漁港の雑草処理、捨てられた空き缶等の回収をおこなう。みなさんのご協力よろしくお願いします。

(実施予定)

- (1)百々川堤防=6月・8月
- (2)海岸堤防 漁港=7月
- (3)松ヶ崎漁港=海の日(7月15日)・港まつり(10月上旬)

9. こども事業について

松ヶ崎小学校と連携し、一人ひとりの子どもの成長を見守る活動をおこないます。

(活動支援)

- (1) 登下校の見守り(交通安全指導)
- (2) 松ヶ崎小学校と香肌小学校児童交流会・運動会・まつさきフェスティバルへの支援、卒業記念品の贈呈など
- (3) 令和5年度にリオ五輪金メダリスト 土性沙羅さん、児童文学作家村上しいこさんの話を聴く機会を提供しましたが、子ども達の生き生きとした表情に心を満たされた共催事業でした。

今年度も小学校との共催事業を企画し、子ども達にとって“ためになる話”を聴く機会を設けます。

10. 松ヶ崎ガイドボランティア活動について

平成31年3月に立ち上げた松ヶ島城跡ガイドボランティアは、昨年より松ヶ崎ガイドボランティアと名称を改め、新たに、六軒茶屋の案内を加えた。松ヶ崎の歴史を訪ねて紹介(説明)するガイドボランティア(6名)活動は、年間を通して地域外の人から依頼があり、丁寧な説明に高い評価を得ている。松ヶ崎の歴史を紹介する活動は松ヶ崎に対する関心を高める事に繋がる活動です。

11. 松ヶ崎公民館活動について

公民館は人々が学ぶ場として、その役割は大きなものがあり、生涯学習の拠点である公民館の活性化を図るため、大西館長を中心に活動を進めている。本年度も公民館活動の趣旨を踏まえた各種学習会を開催する。

12. 行政施策への対応

(1)コミュニティセンター化について

- ①松阪市は市と地域が一体となった、地域づくりに拍車をかけるため、地区市民センター・公民館を住民自治協が管理・運営するコミュニティセンター化を進めています。
- ②松阪市が示している方式＝地区市民センター等を住民自治協議会が管理・運営する「**委託方式**」と現行通りの「**直営方式**」を提示されている。
- ③市内住民自治協の動向
 - ▶すでに徳和地区においては、試行期間の1年間を終え、令和5年度から住民自治協が管理・運営するコミュニティセンター化(委託方式)に移行し、住民を主体とする地域づくりがスタートしました。
 - ▶令和5年度には、松尾住民自治協議会、米ノ庄住民自治協議会が手を上げられ、令和6年度から試行に入られた。
 - ▶令和6年度は申請(手を上げた)住民自治協は無く、様子見の状況となっています。
 - ▶松ヶ崎においても、核となる施設の不備(施設の老朽化・会議室・駐車場不足等)、高齢者の増加等、問題が少なくない中、住民への周知がまだまだ行き届いていないと判断し、40住民自治協同様“様子見”状況としています。
 - ▶この施策については、住民の皆さんに情報提供に努めると共に、他の住民協議会の動向を見極め、慎重に協議を進めていきます。

(2)松ヶ崎小学校(小規模校)の統合問題

- ①松阪市教育委員会は、複式学級等が存在する小規模校の統合について、関係者(保護者・PTA・学校運営協議会・住民自治協等)に説明会を開催し、関係者の意見の集約がおこなわれています。
- ②保護者との意見交換会において、米ノ庄小学校との統合の方向で協議を進めていくことが話し合われたようです。
- ③松ヶ崎住民自治協は、過去数回説明会を受けたが「**小学生児童を持つ保護者、就学前の子どもを持つ保護者**」「**子ども達の意向**」を最優先すべきとしています。

※令和6年 松ヶ崎小児童数32人(新入生:2人)

④松ヶ崎小学校における学校活性化の方向性について

令和５年７月１９日に第１回保護者会に説明がおこなわれ、その後４回にわたって保護者との意見交換（協議）がおこなわれています。

・保護者の統合に関する主な意見

- ①複式学級を早く解消してほしい。
- ②子供の社会性や感受性を育てるには一定の人数（生徒数）が必要。
- ③今回そのまま存続したとしても課題の先送りにしかない。

・統合に伴う必要事項

- ①通学路の安全確保
- ②スクールバスの導入
- ③児童交流機会を増やす
- ④学童おかげさん家の存続
- ⑤校舎の有効活用

以上の意見が出されました。

（３）他に、地域まるごと相談室の開設が中学校校区単位に開設が進められている。

松ヶ崎地区は鎌田中学校施設内に設けられた「福祉のまるごと相談室鎌田」のエリアとなった。

困りごとや相談が必要な場合：☎：0598(52)6161まで電話してください。

以上、令和６年度に予定している事業の概要です。代議員の皆さんのご意見をお聞かせください。

（メモ）

令和6年度 松ヶ崎住民自治協議会 収支予算書

協議会名 松ヶ崎住民自治協議会

収 入

科 目	予算額	収 入 内 容（名称・相手方・金額詳細など）
住民協議会活動交付金	1,856,000	松阪市活動交付金・敬老事業交付金
元気応援事業採択交付金	200,000	松阪市元気応援事業交付金
繰越金	234,319	令和5年度繰越金
社協助成金	450,760	地域福祉活動推進助成金等（福祉・地域づくり助成金・赤い羽根歳末助け合い助成金）見守りネットワーク活動
住民自治協連合会助成金	50,000	
樋門管理業務委託金	69,900	
協賛金	150,000	企業等協賛金
雑収入	30,921	売上金、利子等
繰入金	450,000	松ヶ崎公園委託より繰入
	3,491,900	

支 出

事業名	予算額	内交付金	内自主財源	事業番号	説 明
生活環境整備事業	240,000	200,000	40,000	1	防犯灯設置費（12灯分）
	30,000	30,000	0	2	広報掲示板設置費（1カ所）
（小計）	270,000	230,000	40,000		
安全・安心対策事業	50,000	20,000	30,000	3	地区防災訓練経費
	100,000	50,000	50,000	4	防災備蓄品購入費
	10,000	0	10,000	5	防災ネット分担金
（小計）	160,000	70,000	90,000		
スポーツ・レクリエーション事業	40,000	0	40,000	6	運動会支援金
	20,000	0	20,000	7	地区スポーツ大会（2回）
	10,000	0	10,000	8	北ブロック公民館スポーツ大会
（小計）	70,000	0	70,000		
文化・歴史事業	10,000	0	10,000	9	かんこ踊り
	10,000	0	10,000	10	ガイドボランティア活動経費
（小計）	20,000	0	20,000		
となり人事業	20,000	20,000	0	11	地域住民生涯学習費
	332,000	150,000	182,000	12	キャラクターグッズ製作費
	120,000	70,000	50,000	13	となり人事業啓発ミニテキスト印刷費
	10,000	10,000	0	14	となり人事業推進委員会費
	200,000	200,000	0	15	敬老会関係（記念品の配布等）
（小計）	682,000	450,000	232,000		

地域ふれあい事業	368,760	0	368,760	16	配食サービス・福祉教育活動
(小計)	368,760	0	368,760		
子ども元気応援事業	10,000	0	10,000	17	ふれあい感謝集会
	20,000	0	20,000	18	小学校交流会費(香肌小)
	10,000	0	10,000	19	小学生卒業記念品
(小計)	40,000	0	40,000		
公民館事業	70,000	70,000	0	20	公民館保険
	10,000	0	10,000	21	まっさきフェスティバル
	10,000	0	10,000	22	サークル等育成活動経費
	10,000	0	10,000	23	公民館まつり経費
(小計)	100,000	70,000	30,000		
樋門管理業務委託事業	69,900	0	69,900	24	松ヶ崎消防団へ
(小計)	69,900	0	69,900		
事務局	200,000	100,000	100,000	25	春まつり開催費
	450,000	200,000	250,000	26	港まつり開催費
	111,240	86,000	25,240	27	事務局経費
	700,000	700,000	0	28	事務局員人件費
	100,000	50,000	50,000	29	旅費
	150,000	100,000	50,000	30	役員会会議手当
(小計)	1,711,240	1,236,000	475,240		
支出合計	3,491,900	2,056,000	1,435,900		

※ 支出予算額に過不足が生じた場合は、流用することができる。

令和6年度 松ヶ崎公園管理委託金 収支予算書

協議会名 松ヶ崎住民自治協議会

収 入

科 目	予算額	収 入 内 容（名称・相手方・金額詳細など）
松ヶ崎公園管理業務委託金	1,597,500	松阪市
松ヶ崎公園トイレ清掃委託金	297,400	松阪市
百々川堤防環境整備委託金	396,000	三重県
前年度繰越金	1,002,981	令和5年度繰越金
雑収入	19	通帳利息等
	3,293,900	

支 出

事業名	予算額	委託金	内自主財源	事業 番号	説 明
松ヶ崎公園 委託事業 及び 自然環境事業	1,597,500	1,597,500	0	31	松阪市委託金（松ヶ崎公園環境整備）
	297,400	297,400	0	32	日常清掃（松ヶ崎公園トイレ清掃等）
	396,000	396,000	0	33	三重県委託金（百々川環境整備）
	30,000	30,000	0	34	通学路及び海岸堤防環境整備
	230,000	230,000	0	35	事務局経費
	145,000	145,000	0	36	消耗品費（草刈刃・燃料費・その他）
	148,000	148,000	0	37	予備費
（小計）	2,843,900	2,843,900			
繰入金	450,000	0	450,000		住民協活動経費
（小計）	450,000	0	450,000		
支出合計	3,293,900	2,843,900	450,000		

※ 支出予算額に過不足が生じた場合は、流用することができる。